

おとさだ

乙 貞

第 188 号 通 卷 33 卷 第 1 号
平成 25 (2013) 年 5 月 24 日 発行

守 山 市 立 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー
TEL / FAX 0 7 7 - 5 8 5 - 4 3 9 7

〒 5 2 4 - 0 2 1 2
守 山 市 服 部 町 2 2 5 0 番 地

いよいよ新年度がスタートしました。今年度も機関紙『乙貞』では、市内の埋蔵文化財関連のニュースをいち早くみなさまにお届けいたします。

今号は、センターの新体制と、春先にセンターで開催した催し物等の紹介をしたいと思います。

● 新所長就任の挨拶 ●

4 月 1 日付けで所長に就任いたしました畑本政美でございます。あわせて、下之郷史跡公園の所長も兼務しております。

これまで教育委員会事務局文化財保護課に所属し、当センターの兼務として、発掘調査や整理業務、展示や講演会などの普及啓発に携わっていましたが、今後は館の運営にしっかりと目を向け、また下之郷史跡公園と連携してまいりたいと思います。

さて、センターでは、来館される皆様方への安心と安全を期するため、耐震補強工事を行います。今年の夏ごろから、12 月までの期間を予定しており、期間中大変ご迷惑をおかけしますが、よろしくご理解いただきますようお願いいたします。

事業としましては、例年のとおり特別展、歴史入門講座、体験学習などの開催を行ってまいります。今年度は新たに「巡回展」の開催を計画しております。当センターだけでなく、市内の数箇所の施設の一角にケースを置いて、遺物の展示やボードによる解説を行っていきたいと考えております。各施設の開催期間は、それぞれ 1 ヶ月程度を考えており、詳しい展示内容、展示施設が決定次第この乙貞の紙面でもお知らせいたします。

規模の小さな展示となりますが、お住まいの近くで巡回展をご覧いただくことで、埋蔵文化財への関心を持っていただければと思います。また、展示をご覧になって、さらに興味をお持ちいただいた折には、当センターを活用していただくようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今後とも当センターへ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

市立埋蔵文化財センター 所 長 畑 本 政 美

平成 25 年度 埋蔵文化財センター体制

●埋蔵文化財センター

所長：畑本 政美 調査員：木下 義信 事務員：上畑 秀美

●文化財保護課（センター兼務）

課長：岩崎 茂 職員：小島 睦夫 木塚 正子 伴野 幸一 川畑 和弘 福島 温司

● 発掘調査の成果 ●

・山田町遺跡 第5次調査

前号に引き続いて、勝部三丁目地先における発掘調査の成果について紹介します。今回の調査では、複数の竪穴建物を検出しましたが、それらは弥生時代中期後半と弥生時代後期の大きく二時期に区分できることがわかりました。竪穴建物SH-1、3、5が中期後半のもので、竪穴建物SH-2、4は後期に属します。また、竪穴建物SH-4の下層から、中期後半の土坑S50を検出し、そこから完形に近い“水差し”が出土しました。調査区東南部で検出した溝S85の下層からは、弥生時代中期後半の土器が出土していることから、その時期に機能していたことがわかります。その溝の延長が隣接地点で発見されており、近辺ではほぼ東西方向に伸びる溝が開削されていたことが確認できました。

今回の調査成果を含めて山田町遺跡周辺の様相をみると、弥生時代前期から古墳時代前期に至るまでの集落跡が見つかっており、中でも弥生時代中期後半の集落跡が最も栄えていたことがわかりました。その時期に最盛期を迎える理由については、地域一帯の様相から考える必要があります。今後これらの検討を行い、知見を得られ次第、紙面で紹介したいと思います。

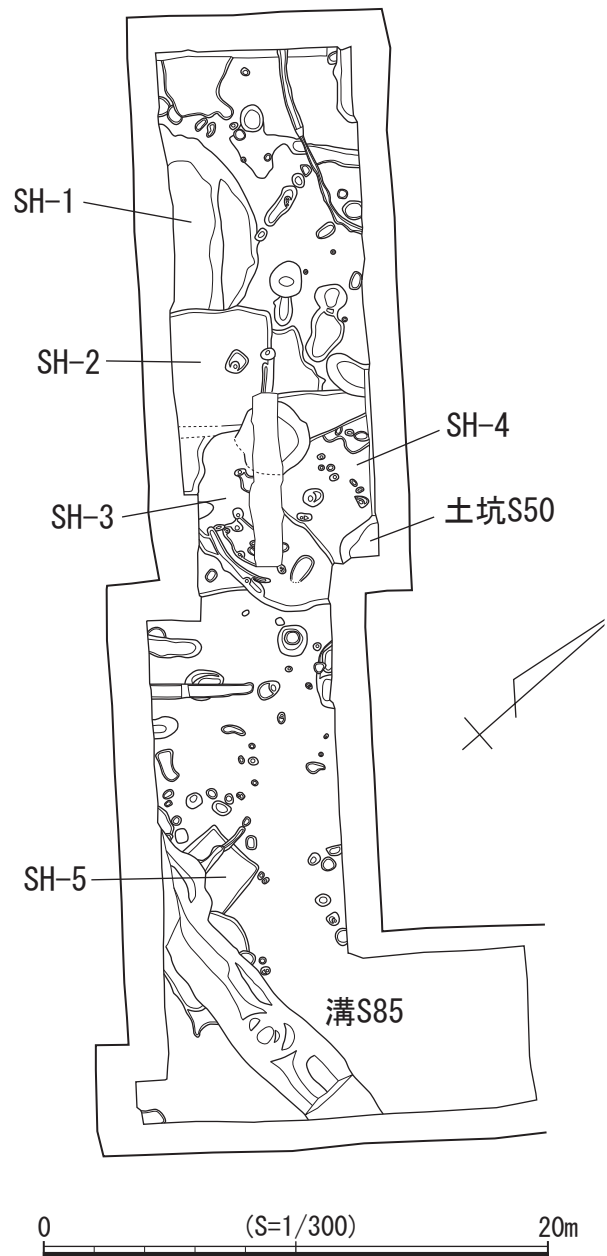
(木下)



竪穴建物 SH-3 石鏃出土状況



土坑S50 水差し出土状況



山田町遺跡 遺構全体図

● 埋文センターの催し物 ●

(1) あうん塾 春の描画会

4月13日（土）に、埋文センターの敷地内にて、こどもの美術応援あうん塾主催による埋文桜の描画会が開催されました。当日は天気にも恵まれ、計130名の参加者がありました。

参加者は、さまざまな場所から、思い思いに桜を描き、とても穏やかな雰囲気の中、描画会を終えることができました。



描画会のようす

(2) 春の特別展の開催

4月20日（土）～5月6日（月）の期間で、春の特別展「近江の弥生土器」を開催いたしました。

今回は守山が誇る土器の数々を“露出展示”という形で展示し、実際に手に触れられる距離でご覧いただけるようにしました。多くの来館者が、熱心に土器を眺めておられたのが非常に印象的でした。

会期中は、計317名の来館者がありました。



特別展 弥生土器の露出展示

(3) 中洲小学校の社会科学習

5月2日（木）には、中洲小学校の6年生の児童達が社会科見学で来館してくれました。

特別展の解説に加えて、普段は入ることのできない整理室や収蔵庫などを案内すると、とても興奮した様子で、たくさんの質問もしてくれました。最後に行った火起こし体験では、みんなで協力し合って、多くの児童が火を起こすことに成功してくれました。



収蔵庫案内のようす

● 平成 25 年度歴史入門講座のご案内 ●

埋蔵文化財センターでは、今年度も歴史入門講座を開講いたします。今年のテーマは「近江の“みち”ものがたり」です。

かつての近江は、東西日本を結ぶ重要な位置にあったことから、東海道や東山道、北陸道などの“みち”が設置されていました。さらに“みち”は、陸上のみならず、湖や河川を利用した水上にも形成され、近江全体に大動脈が広がっていたのです。そこには、遠方とのつながりを求める人々の思いや、政治的・経済的動向が大きく関わっていました。

今年度の講座では、近江に関わるさまざまな“みち”と、そこに携わった人々やかつての社会の動向をひも解き、“みち”を通して近江の歴史をわかりやすく解説していきます。

【全体テーマ】 『近江の“みち”ものがたり』

【講座日程】

- 第1回 6月15日（土） 「モノと人のみちー縄文時代の物流網ー」
講師 瀬口 眞司さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）
- 第2回 7月20日（土） 「律令国家のみちー古代野洲郡にのびる東山道ー」
講師 辻川 哲朗さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）
- 第3回 8月17日（土） 「湖上のみちー古代の大動脈・琵琶湖航路ー」
講師 横田 洋三さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）
- 第4回 9月21日（土） 「天下統一へのみちー信長と琵琶湖ー」
講師 岩橋 隆浩さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）
- 第5回 10月19日（土） 「江戸時代のみちー中山道と近江の宿場ー」
講師 八杉 淳さん（草津市立草津宿街道交流館館長）
- 第6回 12月21日（土） 「みずのみちー琵琶湖疏水の歴史ー」
講師 神保 忠宏さん（公益財団法人滋賀県文化財保護協会）

【開催場所】 市立埋蔵文化財センター2階会議室

（※今年度は、全6回ともに当センターで開催します。）

【開催時間】 午前9時30分から11時30分まで

【定 員】 先着60名

【受講料】 1,200円（講座6回分。1講座のみ受講される場合は、1講座200円。）

【その他】 **全6回の講座に出席された方には、「修了証」をお渡しします。**

【申込み期間】 平成25年6月1日（土）から同年6月9日（日）まで

【申込み先】 市立埋蔵文化財センター

TEL/FAX : 077-585-4397

E-mail : maizobunkazai@city.moriyama.lg.jp

申込みの際は、①お名前、②住所、③電話番号、④受講希望講座（基本は全6回）をお伝えください。

機関紙「乙貞」は守山市のホームページ（<http://www.city.moriyama.lg.jp>）からも閲覧できます。